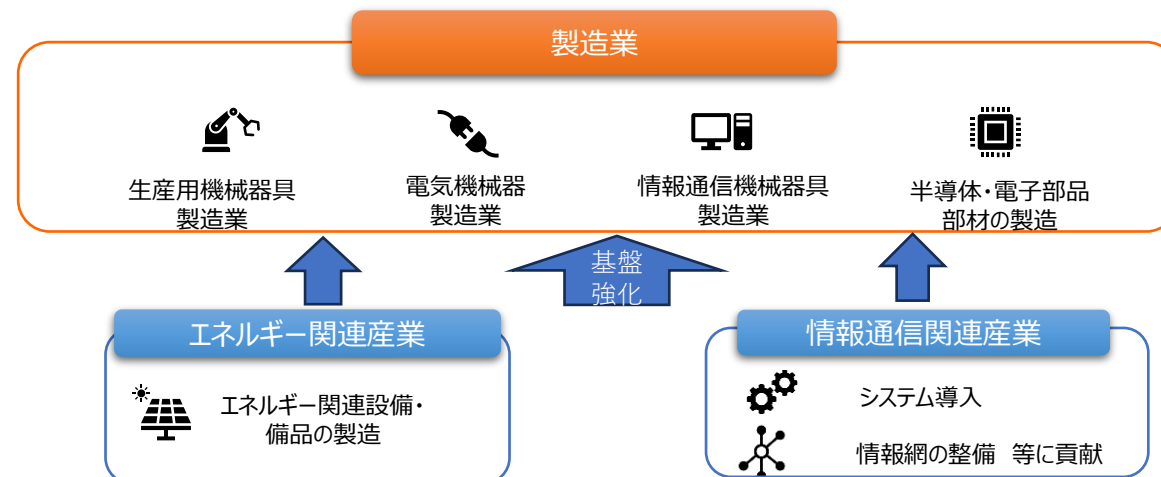


1. 産業領域

エネルギー関連・情報通信関連産業

2. 対象エリア

鹿児島県全域（特に鹿児島市、南さつま市）



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- ・本県の多様な再生可能エネルギー源、安定的かつ安価な電力が供給できるという地域特性を背景に、薩摩川内市で国内最大級のAIデータセンター設置計画が進行中である。
- ・G X戦略地域（データ集積型）の選定されるよう取り組んでいる。

- ・本県の情報通信関連の立地協定件数は電子、食品に次ぎ3番目に多い。
- ・AI技術の発展が目覚ましく、現在のIoT技術に加え、それらの開発・活用がさらに進むことが見込まれる。

（2）目指すべき目標

- ・官民投資額 1兆2,099億円
- ・付加価値増加額 2,161億円
(R8 422億円 → R12 2,583億円)
- ・産業人材数 9,518人 (R12)

4. 勝ち筋

・エネルギー関連産業については、関連の機械や施設整備、部品・部材等の供給を行う企業に対し、最新設備の導入支援、新製品・技術開発支援、ISO認証取得の推進や人材確保への支援等を図り、競争力強化や取引拡大により、関連産業の誘致を推進し、集積を図る。

・情報通信関連産業については、設備投資に対する助成により立地を促進していく。また、企業内におけるAI等デジタル人材及び企業のDXの取組を高い技術で支えていく高度デジタル人材の双方を育成する。

- ・G X戦略地域（データ集積型）に選定されることにより、国の支援を活用する。
- ・AIデータセンターを誘致することにより、運営や管理、部材の供給など関連産業や、AIを活用した産業の集積を推進することで、地域経済の活性化を図る。

5. 政策手段

- ・企業が行う事業所の設置等に係る設備投資や進出企業が行う設備の増設等を支援する。
- ・新製品・新技術開発や、AI・IoT導入にかかる経費を補助する。
- ・知的財産戦略の推進により競争力を強化する。
- ・ISO等の認証の申請・取得や、専門スキルの習得や資格取得のための研修等受講に対し、支援する。
- ・新たな産業用地を確保し、市町村と連携して県外からの企業誘致を推進する。
- ・工業系・情報系高校での企業説明会の開催や、若年者のUIターン就職支援、外国人材の受入体制整備などを実施する。
- ・DXの先進事例となる取組や、省エネ・再エネ設備設置への経費補助を行う。また、関連するセミナーや勉強会を開催する。